

目標達成計画

作成日: 平成 30年 3 月13 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	・家族における外部評価の認知度が低く、外部評価の結果が公表されていることを知らない家族もいる。家族からの意見を引き出しケアに反映できる機会を積極的に作ることが求められている。	・外部評価に関する周知を図り、家族が意見を伝えやすい環境や雰囲気を作る。 ・家族会の活用を検討する。 ・グループホーム内での取り組みの紹介をする。	・毎月発行している新聞で外部評価について分かりやすく説明し送付する。 ・面会時に家族からの意見を引き出せるような声掛けを意識して行う。(研修等の活用や普段からの信頼関係の構築の努力など) ・年2回の掃除のみの家族会活動だけでなく、家族との交流を図り、意見を引き出しケアに反映できるような機会を設ける。 ・毎月の新聞にて、行事の紹介のみでなく運動やりハピリなどグループホーム内で取り組んでいる内容もお伝えするようにする。	12ヶ月
2	2	・地域との交流は積極的に図っているので、福祉や認知症に関する情報、知識を運営推進会議のみにとどめず、更に地域へ広めたり還元できるような取り組みを目指したい。	・家族や地域の方、職員との交流や意見交換ができる機会を設けるようにする。	・家族や地域の方、職員を交えて意見交換や研修が行える、通常規模より大きい運営推進会議を、例えば、年1回オレンジカフェ水門において公開運営推進会議を行う。	12ヶ月
3					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。